

会議・打合せ等記録

市 長	副 市 長	部 長	次 長	課 長 等	補 佐	係 長 等	担 当

報告日：令和 8 年 6 月 26 日(金)

名 称	令和 8 年度 第 1 回鹿沼市地域公共交通活性化協議会
日 時	令和 8 年 6 月 23 日(火) 13 時 30 分～15 時 10 分
場 所	鹿沼市役所 行政棟 3 階 特別会議室
出 席 者	委員：別紙 のとおり【計 19 名】23 名の過半数を超えるため協議会成立 事務局(生活課)：福田生活課長、鈴木係長、大塚主任主事、手塚主任主事 傍聴者：なし
内容及び 結果等	○開会 (福田課長) ○あいさつ (松井会長：市長) ○委員紹介 (小矢島委員から順に出席者全員が自己紹介) ○報告 (進行：松井会長) 1 令和 7 年度事業報告について →質疑なし 2 令和 7 年度決算報告について ①委員 質疑①一部科目について予算と決算の金額に大きな乖離があるが、その理由等について詳細な説明をお願いする。 ⇒ (事務局 回答) 金額に乖離がある理由は、令和 7 年度から国庫補助金を受け取る方法が変更となり、本協議会が受け取ることになったためである。 3 西方病院行き予約バスについて →質疑なし ○協議 (進行：松井会長) 1 令和 8 年度事業計画 (案) について →質疑なし 承認 2 令和 8 年度予算 (案) について →質疑なし 承認 3 鹿沼市地域公共交通計画の変更 (案) について → 承認 委員 質疑①AI オンデマンドバスについて、バスの大きさや何人乗りか等バス車両の情報を具体的に教えて欲しい。 ⇒ (事務局 回答) AI オンデマンドバスで利用する車両は、リーバスで使用している車両をそのまま活用する。リーバス車両もさまざま大きさがあるが、そのなかの小型から中型の間のサイズのバスを予定している。 座席数は 15 人程度となっており、運行予定のバス車両数等については、後ほど協議 7 で詳しく説明させていただく予定である。 4 「生活交通確保維持改善計画 (幹線)」(案) の策定について→質疑なし承認 5 「生活交通確保維持改善計画 (フィーダー)」(案) の策定について 承認 委員 質疑①資料について、文字が小さく読みにくい。 ⇒ (事務局 回答) 大変申し訳ない。以降、気を付ける。

6 リーバスの運行ダイヤ変更（案）について →質疑なし **承認**

7 AI オンデマンドバスの運行について **承認**

※事務局から AI オンデマンドバスの名称「ポポカ」とロゴマークについて
口頭（映像）で紹介（資料配布なし）

委員

質疑①高齢者はアプリ利用が難しい場合がある。電話でも受付できるという認識で間違いはないか？また、運賃についてはアプリ利用で割引になるとのことだが、アプリ利用者以外にも、割引を検討して頂けないか？

⇒（事務局 回答）

AI オンデマンドバスの呼び出しは、電話でも受付をすることで間違いはない。また、アプリ自体はシンプルな作りとなっており、使い方は難しくない。導入にあたり、バスの乗り方教室と併せて AI オンデマンドバスのアプリ利用ができるようにスマホ教室も兼ねて実施する予定である。

マイナンバーカードの普及時に、ポイントが貰えるためにデジタル対応を頑張った方がいるのと同様、AI オンデマンドアプリについても、100 円割引になるため、頑張ってアプリ利用をする方がいると考えている。

また、運営側としてはコールセンター設置費用が高額のため、できるだけアプリに誘導し経費を抑えたいと考えている。

⇒委員

補足として、電話予約の場合、電話がつながりにくい場合や、受付時間がアプリと比較して短いという側面がある。また、アプリ利用のメリットとして、バスの現在地がわかるということがある。

是非、アプリを利用して欲しい。

委員

質疑②鹿沼南高校に行くバスは、残るという事でよいのか？

例えば、樺山駅から既存のバスで鹿沼南高校に行くことはできるか？

⇒（事務局 回答）

鹿沼市の南部には、以前から予約バスという予約制のバスが導されており、そのバスで対応可能かと考える。

⇒委員

鹿沼華陵高校の定時制の生徒が、鹿沼南高校の校舎を利用する。

学校の時間帯は昼間定時制であり、9 時頃から一般の高校と同じ時間帯であるため、通学の足がなくならないか心配となった。

委員

質疑③バス停について、物理的なバス停は設置せず、アプリ上で見えるようにするとのことだが、アプリでしか見ることができないのか。

⇒（事務局 回答）

紙の地図は作る予定であり、地図上では見えるようにする予定である。

また、物理的な目印がないと、乗る側も迎えに行く側も不安があるかと考えるため、可能な場所には何かしらの目印をつけたいと考えている。

委員

スマホを利用できない高齢者もいるかと思うので、親切に対応しないと様々な間違いが起きてしまうと思う。

また、100%アプリ予約になった場合、全員が割引運賃適用になり、収入が減ることになるかと思う。

委員

質疑④リーバス・予約バスともに、利用者層は高齢者や障がい者が中心かと思う。障がいをお持ちの方にも配慮して欲しい。

⇒（事務局 回答）

承知した。

委員

質疑⑤割引制度について、その対象者は18歳以下と75歳以上、障がい者、アプリ利用者か？

一般的には、運転免許返納者も対象かと思うが、本事業では対象外なのか？

⇒（事務局 回答）

リーバス・予約バスの割引制度では、運転免許返納者は該当ではない。

AI オンデマンドバスも、同様に対象としない予定である。

委員

質疑⑥何点か質疑等がある。

まずお願いだが、新規のバス停について、利用者の安全確保できるように横断歩道付近でのバス事故等が多いため、バス停を横断歩道付近に設置しない等安全基準の遵守に留意して欲しい。

また、運転手の労働時間について、AI オンデマンドバスの予約が多く入ったとしても、運転手の休憩時間はしっかりと確保して欲しい。

質問になるが、AI オンデマンドバスの予約方法に応じて、割引の適用かどうかが変わるが、運転手はどうやって予約方法を識別するのか？

⇒（事務局 回答）

運転手には、バスを利用者の名前や予約方法が伝わるシステムとなっている。運転手が迎えに来た時点で、名前を確認して乗車するので、問題ないかと思う。

委員

質疑⑦AI オンデマンドバスの運行時間や運行台数は、平日と日曜や祝日関係なく運行するという解釈で良いか？

また、意見として当社もアプリ予約が可能だが、高齢者は窓口を利用

いただくのがベストな選択であり、いかにアプリをシンプルにするかが肝要かと思うため検討いたがくのがよいかと思う。

⇒（事務局 回答）

現在のリーバスが曜日により運行台数や時間を変えてないため、

AI オンデマンドバスも同様の運行とする予定である。

アプリについても検討させていただく。

委員

質疑⑧AI オンデマンドバスの導入取組みに関してとても良い事業だと考えており、今後県内の市町に紹介していきたいと考えている。

質問だが、AI オンデマンドバスの導入予定時間は、8時からであり、朝は定時定路線の方が効率的とのことだが、その理由を教えて欲しい。

⇒（事務局 回答）

同じ目的地に沢山の人を運ぶ場合、定時定路線の方がデマンド方式よりも効率的な運行を図ることができる。朝は目的地や乗車時間帯が同じ人が多く、かつ、AI オンデマンドバスはその時の予約状況により到着時間が変わることがあるため、利用者も到着時刻が毎日同じである定時定路線の方が安心して利用できる。

⇒委員

AI オンデマンドバスは利用者が集中すると時間が読めない状況が発生するということでしょうか？

⇒（事務局 回答）

その通りである。

⇒委員

事務的なことだが、県の補助金を受ける予定であるかと思うが、この後補助申請について案内するため、本路線の申請も忘れないよう注意いただきたい。

委員

質疑⑨AI オンデマンドバス導入にあたり、廃線する路線が3路線あるかと思うが、それ以外の路線は引続き維持されるということで良いか？

⇒（事務局 回答）

ご認識の通りである。

⇒委員

AI オンデマンドバスについて、導入エリア以外の住民が利用を希望した場合は、エリア外ということで利用できないのか？

⇒（事務局 回答）

エリア外の方については、リーバス等を使いエリア内まで入れば利用できる。

⇒委員

	アプリとは何か？QR コードは誰でも利用できるイメージがあるが、アプリは高齢者はわかりにくいと思う。どういうアプリか教えて欲しい。 ⇒（事務局 回答） 電話をかけることと同じ様なことだと考えて欲しい。 スマホで電話をかける場合、〇〇さんと選択し、かけるかと思うが、AI オンデマンドバスの呼び出しアプリも「今ここから乗りたいと」と選択いただくことで呼び出すことができる。 ⇒委員 AI オンデマンドバスのアプリを開くまでの手順がわかりにくい。 言葉として「アプリ」と言っているが、AI オンデマンドバスのアプリとはどういうものなのか？ ⇒（事務局 回答） スマホをお持ちの方は、何かしらのアプリを利用しているかと思うが、AI オンデマンドアプリをダウンロードしてもらうことからスタートになるかと思う。 乗り方教室で、直接スマホを見ながらお伝えしていきたいと思う。 ⇒委員 高齢者が自由にバスを活用するために、アプリ利用についても配慮し、割引運賃が適用になるように努めて欲しい。
	○その他 事務局から、追加報告案件として、関東自動車で運行している荒針線について一部路線の変更、一部停留所の廃止協議が県の協議会に提出されている。 鹿沼市としても、本件について検討し回答が必要である。 荒針線の路線のうち、ニューサンピアを経由しているが、当施設は2年前に営業を終了しており、かつ、この区間から利用する方が大変少ないという状況のため、ニューサンピアを経由する部分のみの廃止はやむを得ないと考えている。 当該エリアは、予約バスが既に運行エリアであり、最低限の移動手段は確保できると考えている。 そのような整理で、鹿沼市として県に回答をする予定である。 これが、県で承認された場合、10月1日から荒針線の路線の一部が変更となるため、ご承知おきいただきたい。
	○閉会（福田課長）
配布資料	① 事前送付：協議会資料
次回予定	令和8年8月10日
記 録 者	手塚
鹿沼市審議会等の会議の公開に関する要綱第2条に基づく審議会等の公開状況 （該当する審議会等以外の会議・打合せ等については記入不要）	
公開・非公開の別	公 開 ・ 非公開 （公開の場合）傍聴人数 0人